高梁川流域キッズ

たかはしがわりゅういき
高梁川流域の
指定文化財（史跡）

くろぎのこうさつば
黒木の高札場

新高総早倉矢井浅里笠
見梁社島敷掛原口庄岡
市市市町市町市町市町

- 場所
  - 井原市美星町黒木
- 時代
  - 江戸時代後期
- 指定年月日
  - 平成17（2005）年3月16日
- 所有
  - 井原市

この史跡について

法度、掟書などをしるした板が高札であり、それを掲げる場所を高札場といいます。一般に高札は、交通の多い市場や辻などに掲げ、庶民の間に法令を徹底させることを目的としていました。中世末期頃から見られるようになり江戸時代にもっとも盛んとなりましたが、明治3（1870）年に廃止されました。

この高札場のあるところの地名は札場といいます。江戸時代後期につくられたと考えられていますが、詳細は不明です。柵の中に柱を立て、屋根を設けて雨を防いでいます。間口約1m40cm奥行1mの規模となっています。